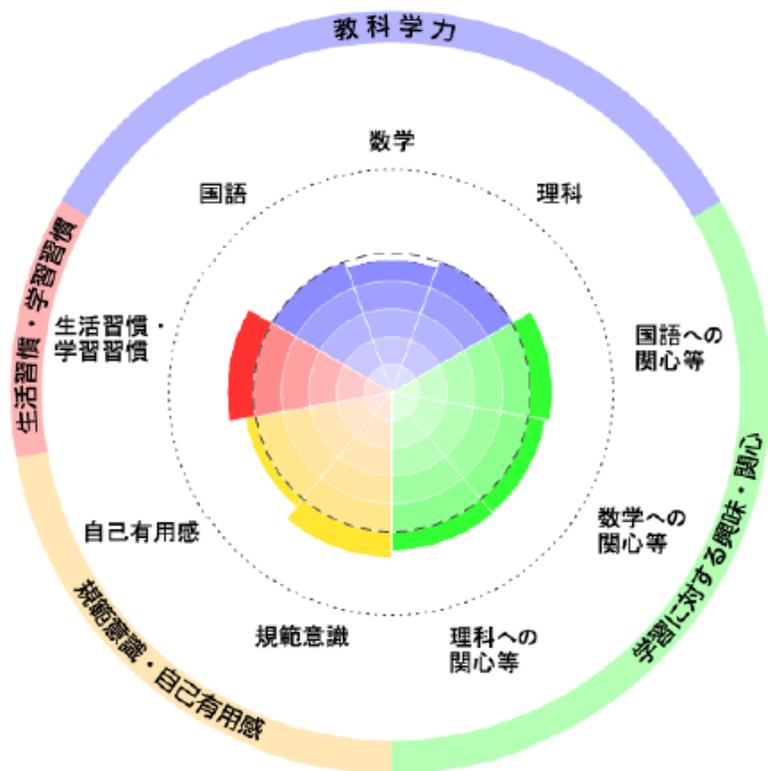


令和4年度 全国学力・学習状況調査における中学校の結果について【実施日:令和4年4月19日】

筑西市内中学校の結果についてお知らせします。なお、この調査の目的や、調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

1 令和4年度全国学力・学習状況調査における

本市のレーダーチャート



2 教科に関する調査(レーダーチャートの「国語、数学」) ○:成果、●:課題

[国語]

- 自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書くこと
- 表現の技法について理解すること
- 行書の特徴を理解すること
- 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと

◎今後の取組

- ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書けるようにする指導の充実
- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように、聞き手の立場に立ち、どのような工夫が効果的なのかを考えて話す指導の充実

[数学]

- 一次関数の変化の割合の意味を理解すること
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること

- 自然数を素数の積で表すこと
- 反例の意味を理解すること
- 箱ひげ図から分布の特徴を読み取ること

◎今後の取組

- ・自然数をその約数の積に表す活動を通して、表現された約数の積の中に素数の積があることを調べたり、素数の意味を確認したりする学習活動の充実
- ・ある事柄が成り立つかどうかを判断するために、仮定を満たすような具体例を挙げて結論を満たすかどうかを調べたり、事柄がいつでも成り立たないと考えた場合には反例をあげて説明したりする学習活動の充実
- ・データの分布の傾向を読み取って判断し、その理由を数学的な表現を使って説明する学習活動の充実

[理科]

- 条件を制御して実験を計画すること
- 知識及び技能を活用して、モデルで表した図を基に表現すること
- 比較して捉えた共通点と相違点を基に、分析して解釈すること
- ◎今後の取組

- 図とデータを関連付けて、分析して解釈すること
- 他者の考察を検討して改善できるか考えること
- 考察の妥当性を高めるために、実験の計画を検討して改善すること

3 生徒質問紙調査(レーダーチャートの「興味・関心等」～「生活習慣・学習習慣」)○:成果、●:課題

- 国語、数学、理科について「興味・関心がある」、「将来役に立つ教科である」と答えた生徒が全国より多い。
- 「人の役に立つ人間になりたい」「将来の夢や目標を持っている」「いじめは許さない」と答えた生徒が全国より多い。
- 「学級活動」の話し合い活動への取組や話し合いを通して決めた努力すべきことに取組むことに肯定的に答えた生徒が全国より多い。
- 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」について、「発表していた」と答えた生徒が全国より少ない。
- 普段、1日当たり3時間以上「テレビゲームをしている」または、「動画を視聴している」と答えた生徒が全国より多い。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」で「当てはまる」と答えた生徒が全国より少ない。
- ◎今後の取組等
- ・国語科を要として言語能力の育成に計画的に努めます。また、国語科以外でも教科横断的な視点から、相手意識・目的意識を明確にした言語活動を通して、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する力の育成を目指します。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進め、生徒主体の授業を目指します。
- ・携帯電話・スマートフォン・コンピュータの情報モラルについて引き続き指導していきます。また、使い方・時間の制限等の約束がまだ決められていないご家庭は、お子さんと話し合い、決めてください。
- ・生徒が自分のよさを実感できるような学習の場の設定や心の居場所となる温かな学級経営と接し方に今後も努めます。

対象:市内中学校第3学年

調査人数:6校 624人

調査内容:国語・数学・理科・質問紙